



玉川通信

～ かけはし ～

学校だより NO. 6
令和6年 9月30日
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

仲秋の候、さわやかな風が吹き抜けるこの頃ですが、保護者・地域の皆様には、御健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただき「有難う」ございます。また、先日は授業公開に御参観くださり「有難う」ございました。

令和6年度 玉小運動会に向けて

今、子供たちは、10月19日（土）に実施される「運動会」の準備・練習と、充実した日々を過ごしています。

今年度は、個人競技、表現に加え、団体競技も行います。また、児童の安全・安心を第一優先にしていまいります。

運動会本番、またそれまでの練習の過程は、教育的意義が大きく、子供たち一人一人にとって、集団（チーム）にとって、「チャレンジ精神」、「最後までやり遂げる力」、「あきらめない態度」、「責任感や連帯感」、「協力して成し遂げる力」を育むなど成長するための大切な学びの場になります。

令和6年度運動会のスローガンは、「**笑顔全開！ 最後まであきらめず、自分の力を出し切ろう！**」です。

玉小の子供たちの思い・願いがこのスローガンから、ひしひしと伝わってきます。運動会で一段と成長していく子供たちの輝く姿、是非、熱い声援をよろしく願います。

秋の夜長、ご家族での対話を大切に！

秋の夜長、ぜひ、この時間を親子の対話に使ってほしいと思います。

ぜひ、お子さんと対話をしてください。きっかけは、「ただいま！」と挨拶をし、「ところで、今日、どんなことがあった？」、「今日の気分はどう？」など、余り構えをつくらず、できるだけ、リラックスした時と場の中で、ゆったりとお子さんに声をかけてからスタートです。しだいに対話への世界へ……

そのときのポイントとして、次のような留意点があります。

1 「子供の声を温かく迎え入れる」

子供は気持ちを受け止めてもらえる自分を表現するようになります。

2 「すぐに答えや結論を求めない」

子供は自分で新たな問いや考えを持つようになります。

3 「自分の判断・思い込みを一旦、保留すること」

すぐに伝えたくくなりますが…がまんのしどころです。

ここで大事になってくるのは、知識や事実・事象だけを伝え合うのではなく、自分の考えや気持ちも伝え合うことです。

このことにより、お子さんは自分のことば、考えや気持ちを伝えることができるようになります。

是非、親子でチャレンジしてみてください。

10月の生活目標「すすんで仕事をしよう」

<学級での取組>

- ・係や当番の仕事を最後までやり抜く。
- ・自分の役割に責任をもって仕事をする。
- ・自分から仕事を見付け、すすんで取り組む。

